

ニューヨーク補習授業校

補習校だより

平成20年 4月号
4/19/08発行
56 Harrison Street #204
New Rochelle NY 10801
914 (636) 3770

校長室の窓から

教 頭 山内 剛

夢と希望に胸をふくらませて入学した、新入園児・児童・生徒を迎えて、5日、入学式がそれぞれの地区校でおこなわれました。

新たに、幼児部108名、初等部113名、中等部45名、高等部21名、合計257名の元気な新入生を迎え、本年度の教育活動をスタートいたしました。

新入生の保護者の皆様に心から入園、入学のお慶びを申し上げます。お子様たちにとって、これから、補習授業校での生活が始まり、不安と緊張の中にも喜びがいっぱいのことでしょう。早く子どもたちが学校生活に慣れ、楽しく明るく生き生きと過ごしてほしいと願っています。

またそれぞれ1学年ずつ進級した子どもたちの保護者の皆様、進級おめでとうございます。子どもたちは、一人ひとりが新しい学年の生活にさまざまな夢や希望を抱いていることと思います。全員の夢が実現できるように願っています。

先日、両腕のないハンディを越えて公立中学校の英語教員に採用されることが決まった小島裕治さんの記事が新聞に載っていました。「生徒には自分の姿を見せることで、チャレンジ精神を伝えていくつもりだ。」と抱負を語る小島さんの言葉の中で、とても印象に残った言葉があります。

成功の反対は失敗という言葉ではありません。

何もしないということです。

自らのハンディを乗り越え、2度の採用試験の失敗にも諦めずに挑戦を続けた小島さんの言葉だけに重みを感じます。

小島さんが夢を実現させた背景には、保護者の言葉があったそうです。その言葉に後押しされ、自分を磨いてきたということでした。

子どもは多くの可能を秘めています。学校長の式辞のなかにも、「自分の夢をかなえるため、努力し、自分に自信を持ってさまざまな事にチャレンジしてほしい」という言葉がありました。「子どもたちの挑戦」への援助をできる学校でありたいと考えています。「挑戦への勇氣」を持ち続けるためにはご家庭の支えが何よりも必要です。

子どもたちの未来のためにご理解、ご協力の程よろしく願いいたします。

病気治療のため帰国中の学校長につきましては、児童、生徒、保護者の方々より温かい励ましのお言葉をいただきました。学校長にも皆様のお言葉を伝えたと、大変感謝しておりました。

海を渡った教科書

第1授業日に教科書を配布いたしました。子どもたちがちょっと中を覗いて確かめる様子は日本と変わらない4月の風物詩といったところです。

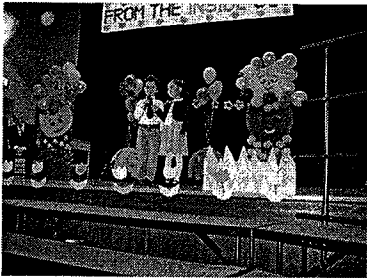
ところで、授業で使わない教科書はどのようにされているのでしょうか。本棚に立てたまま忘れてしまうことが多いのではないのでしょうか。だとしたら実にもったいないことです。今年度在外教育施設に配布された教科書購入費用に

3億円に迫る税金が使われたそうです。

まず親子で眺め、いっしょに中身を読むのもよいでしょう。現地校の学習と比較し、日米の違いを知ることの良いでしょう。「音楽」「図工」「美術」といった幻術的な分野では日米の文化の違いをあらためて知ることになるかもしれません。ぜひ、ご家庭で有効に活用してください。

入園・入学・始業式

4月5日、各地区校で、入園・入学・始業式が行われました。新入園・新入学幼児児童生徒、L I校年中23名・年長27名・中一13名・高一9名、WT校年長58名、A校中一32名・高一12名を含む、全校在籍数807名での新年度のスタートです。



教職員異動

各地区校の学級数等の変動にともない、次のような先生方の異動がありました。

- <新任>

小浜純子先生

(L I校 幼児部年中1組担任)

山口牧子先生

(L I校 幼児部年中2組担任)

パブル比路美先生

(L I校 幼児部年長2組担任)

ハツングス 広子先生

(WT校 初等部1年4組担任)

澤崎 隆先生

(WT校 初等部2年3組担任)

辰巳仁美先生

(A校 中等部1年2組担任)
- <再任>

古越藤枝先生

(WT校 初等部3年2組担任)

黒田基子先生

(WT校 初等部3年4組担任)
- <転任>

ハウエル由香利先生

(A校 中等部1年1組担任、WT校より)

渡部泰治先生

(A校 中高等部講師、L I校より)
- <退職>

小松和子先生

(L I校 幼児部)

ソーリアル直子先生

(L I校 初等部)

- 神尾 洋さん

(L I校 幼児部年中アシスタント)
- 岩城須恵子先生

(WT校 初等部)
- トール真由美先生

(WT校 初等部)
- 小谷雅子先生

(WT校 初等部)
- 二宮雄子先生

(A校 中高等部)

夏休みの体験入学の準備はお早めに

夏休み期間等を利用しての、日本での体験入学は、特にこちらでの生活が長かったり、日本の学校生活の経験がないお子さんにとってはたいへん有意義なことです。希望される学校とは事前に十分な連絡をとって早めに準備を進めてください。詳しくは、本日配布のプリントをお読みいただき、ご不明な点は各地区校の担当教頭や担任の先生にご相談ください。

今後の予定

(※は先生方の打ち合わせです。)

授業日 (回)	L I校	WT校	A校
4 / 26 ④	避難訓練		
	※職員会議①	6時間授業① クラス写真	クラス写真
5 / 3 ⑤	授業参観・懇談会① (初1・2・5・6年)	授業参観・懇談会① (幼・初1・6年) ※学年部会	
5 / 10 ⑥	授業参観・懇談会② (初3・4年)		授業参観・ 懇談会
5 / 17 ⑦	海外子女文芸作品コンクール案内 ※幼児部研修会		
	授業参観・懇談会③ (幼・中高)	授業参観・懇談会② (初・3・4年)	球技大会
5 / 24 ⑧	クラス写真 ※学年・教科部会	授業参観・懇談会③ (初2・5年)	